

がん患者さんとご家族のための おしゃべりサロン

都立駒込病院 サロン便り
No. 93
(2019年11月発行)



2019年10月11日に第100回“おしゃべりサロン”を開催しました。体験者8名、患者家族1名（女性7名、男性2名）合計9名の方が参加されました。駒込病院おしゃべりサロン100回記念に相応しい前向きなお話になりました。



サロンのお約束を確認して始まりました。

- ①自分のことは自分の言葉で話すこと。
 - ②他の方のお話は、善し悪しを評価しないで最後まで聴くこと。
 - ③サロンでのお話はこの場限りにすること。SNSへの投稿、録音、写真撮影は禁止。
- 以上の3点をお願いしました。

○ファシリテーターから、「最近災害が多いけれど、患者として準備していることはありますか？」という問いかけ。ストマー装着の方2名から「パウチは会社にも、また自宅でも小分けにして数日分保管している。患部はカブレ易いけれどサニーナが有効だ」と貴重なお話を聞くことができた。

○がんサバイバーというだけで社会的弱者になってしまうが、実際はそうではない。がんになっても普通に生活できる、ということがもっと認知されるとよい。

○生きるために仕事は大切だけれど、がんになって考え方が変わった。頑張り過ぎず、「いいかげん」ではなく「良い加減」になるようにしている。

○がんになってから、嫌な事はしない、嫌な人とは会わない、嫌な所には行かない、という三原則を実践している。

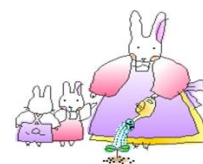
○がん治療しながら仕事を続けられたのは、職場でカミングアウトして協力してもらえたから。でも、差別ではないが区別はされた。仕事を続けられたからこそ今があると感じる。

○治療しながら仕事は続けられる、そのことを理解してもらうためにも「がん教育」は必要。地方によっては、がんのことを描いた漫画を置いてある図書館もある。

○手術して失ったオツパイ。娘には見せないけれど、孫とお風呂に入った時は自然と見せられる。

ごく一部ですがご紹介させていただきました。次回もスタッフ一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

次回・次々回のご案内



- 日時：毎月第2金曜日（13時～15時）
2019年11月 8日（金）
2019年12月 13日（金）
 - 場所：都立駒込病院 本館3階
患者サロン（中央エレベーター横）
 - 対象：主にがん患者さん・ご家族
どちらの医療機関にかかっている方も参加できます。
- * 予約はいりません / 参加費は無料です